

登別市来馬地区子ども会育成連絡協議会お泊まり会

6月28日(金)から29日(土)にかけて、幌別西小学校で、『お泊まり会』(登別市来馬地区子ども会育成連絡協議会主催)が行われました。

毎年行われている『お泊まり会』。今回は、子どもたちに防災意識を高めてもらおうと、市と連携してさまざまな防災体験を実施しました。

防災に関する講話や新聞紙を使ったお皿作り、段ボールベッドの組み立てなどのほか、防災クイズや防災かるたなどを行った約140人の子どもたちは、自分が住んでいる地域にどんな災害が発生する可能性があるかなどを学びながら、いつもと違った学校を楽しんでいました。

6/28



▲力を合わせて段ボールベッドを組み立てる子どもたち

7月10日夏本番

第7回のぼりべつ夏祭り

6/29・30

6月29日(土)・30日(日)、川上公園で、『夏をさきどり〜みんなが主役!第7回のぼりべつ夏祭り』(同実行委員会主催)が開催されました。市民参加型のイベントやお笑いライブ、地域で活躍する団体の発表などに加え、今回初の取り組みとして、来場者皆さんで会場のごみを拾い集める『ごみ拾いタイム』などが行われた2日間。

来場した多くの人たちは、きれいな会場内で、登別閻魔やきそばなどのご当地グルメに舌鼓を打ったり、ステージで行われたさまざまなパフォーマンスに感嘆の声をあげたりしながら、思いの夏を堪能していました。



▲登別伊達時代村による忍者ショーの後に、手裏剣投げに挑戦した子どもたち

7/4

市制施行をきっかけに
続く交流の絆

令和元年度四五都市連絡協議会総会

7月4日(木)、登別温泉町に東京都福生市と滋賀県守山市からそれぞれの市長や市議会議長などを招き、『令和元年度四五都市連絡協議会総会』を開催しました。

同じ昭和45年に『町』から『市』へと新たな歴史をスタートさせた登別市を含む三市は、友好交流都市の協定を結んでおり、これまで2年に一度、三市輪番で総会を開催し、行政や議会の交流を図ってきたほか、職員の派遣交流や小学生のスポーツを通じた相互の交流などを行っています。

同総会では、三市それぞれが、来年に迎える市制施行50周年という大きな節目に向かってどのような取り組みを進めているかを確認し合うとともに、今後どのように連携を深めていくかを協議しました。

また、7月5日(金)には、登別地獄谷をはじめ、札内高原館など、市内視察を行った同協議会。市内にあるさまざまな魅力を再認識し、今後のまちづくりへの活用を検討していました。



▲令和2年度の事業のほか、今後の三市のさらなる交流のあり方について協議した総会



▲登別地獄谷で、登別観光ボランティアガイドから説明を受ける協議会委員